

第81号

平成4年4月20日 発行

発行
東成瀬村議会
編集
議会広報編集委員会
印刷
(株)増田印刷所

議会だより

〒019-08 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1 ☎0182 (47) 2332



今日からよろしくね(やまゆり保育園)

もくじ

- ・平成4年度、村の予算の使いみち……2～3頁
- ・村長・教育長の行政方針……4頁
- ・一般質問(高橋楯雄議員)……5頁
- ・一般質問(柳 邦夫議員)……6頁
- ・一般質問(後藤 作議員)……7頁

もくじ

- ・平成4年度、予算案審議……8～9頁
- ・こちら傍聴席(蛭川・高橋達雄さん)……10頁
- ・請願・陳情の結果……10頁
- ・臨時議会……10頁
- ・3月定例会提出議案一覧……10頁

26億7,400万円

簡易温泉施設を建設

三月定例会

こんなことが

決まりました

総務費 2億9,418万円

(税務、会計、戸籍を含む)

- 岩井川総合センター改修工事 250万円
非常階段の取り付け、玄関の改修など
- 庁舎、開発センター改修工事 560万円
屋根塗装、入口階段手すり設置など
- 参議院議員選挙費 240万円
今年に予定されている参議院議員選挙の費用
- 宅地鑑定評価委託料 90万円
平成6年度の評価替に向けての基礎調査



岩井川総合センター

企画費 7,158万円

(村ゆとり活性化事業費を含む)

- 簡易温泉施設費 2,850万円
昨年ボーリングしたお湯を活用する
- デンバー派遣滞在費 440万円
デンバーへ長期滞在派遣(2名)をする
- なるせ吹奏楽同好会補助金 260万円
楽器購入を補助し、社会人吹奏楽を育成する
- 振興財団への助成及び出資金 900万円
就学奨励等の人材育成、物産振興等に充てる



岩小児童との交流もあった

産業費 3億9,995万円

- 農村地域総合整備事業費 6,494万円
岩井川地区でミニ総合開発事業を実施
- 公立育成牧場整備事業費 3,578万円
長倉牧場を再整備する
- 地籍調査事業費 2,959万円
椿川の豊ヶ沢から天江間の成瀬川東側山林を調査
- 森林総合整備事業費 2,287万円
村有林の除間伐、根路み、植栽など



改良がすすむ村・林道

土木費 3億2,680万円

- カントリーパーク事業費 6,990万円
大森山開発に関連する園路などを作る
- 道路新設改良工事費 1億8,015万円
村道11路線の新設や改良など
- 冬期交通対策費 2,552万円
冬期間の村道の除排雪など
- 河川工事費 1,150万円
村管理の川や沢の保護をする

教育費 2億3,523万円

- 教育助成費 4,724万円
スキー場利用補助や、中学生の通学費補助など
- 教育振興費 1,893万円
教材備品やパソコンの購入費など
- 社会教育関係費 2,217万円
公民館やふる里館の学級、講座の費用など
- 保健体育費(施設費含む) 1,482万円
スポーツ大会や教室などの実施、スキー置場の建設など
- 給食管理費 2,783万円
学校給食センターの燃料費などの運営費



今秋9月には研究公開がある

特別会計

- 国民健康保険特別会計(事業勘定)
保険給付などをするための予算 2億4,859万円
- 国民健康保険特別会計(施設勘定)
診療所の運営に関する予算 1億3,713万円
- 簡易水道特別会計 1億9,320万円
水道を安定供給するための予算
- 老人保健特別会計 2億3,409万円
医療対象者に医療費の給付などをする予算
- 老人福祉施設特別会計 2億702万円
特養ホーム幸寿苑の運営のための予算
- 十文字学生寮特別会計 1,101万円
高校生のための寮運営の予算

平成4年度 一般会計

保健センター

保健衛生費 4億6,284万円

- 保健センター建設費 3億4,745万円
1階を診療所にして、2階建てのセンターを作る
- 各種検診費 1,390万円
結核予防、成人病などの検診をする
- ゴミ収集委託料 247万円
もえないゴミや生ゴミの収集などをする
- 特別会計への繰り出し 6,117万円
診療所や簡易水道の特別会計へ一般会計から繰り出す



検診受けて、予防対策を万全に

- 白内障人工水晶体等費用助成 30万円
人工水晶体手術などに要する費用などを助成する
- デイサービス事業委託料 2,126万円
- 社会福祉協議会補助金 443万円
社会福祉協議会の運営に要する費用を助成する

民生費 1億9,161万円

その他の予算

- 議会費 5,231万円
議会運営に関する予算
- 商工費 8,969万円
商工や観光に関する予算
- 災害復旧費 38万円
災害発生に備えた予算
- 基金費 1億376万円
- 労働費 230万円
出稼健診などを行う予算
- 消防費 8,442万円
広域消防負担金や消防団の予算
- 公債費 3億2,895万円
村の借金を返すための予算
- 予備費 3,000万円

村長

行政方針



村長 後藤 幸司

沼又へ温泉施設を作る

又区内でカントリーパーク(特定地区公園)の第一弾として、道路等の一部工事に着手する。▼須川地区では、環境事業団による施設整備がなされた後に、第三セクターが譲渡を受けて運営してゆくこととしている。

▼しかし、国では譲渡事業制度についての見直しなどが行なわれており、今年度は須川地区にどのような施設がふさわしいかなどを調査する。

▼畜産振興策として、短角牛の受精卵移植にかかる補助を行う。▼長倉地区には公共育成牧場を整備する。(既存牧場の再整備)

▼岩井川地区で、農村基盤整備事業(ミニ総)を実施する。▼出稼者東京集会は、年々参加者が減少していることから、独自の集会をやめて首都圏なるせ会との合同の会としてゆく。

▼第三分団に消防ポンプ積載用軽トラックを配備する。▼国際交流事業として、テンバ

ーへ長期派遣(約6カ月)を行う。(人数は2名)

▼なるせ吹奏楽同好会へ楽器購入等の助成をする。

▼シルバーバンク(高齢者人材銀行)を設置して高齢者の技術能力の活用を図る。

教育

行政方針



教育長 佐々木 志朗

教育投資は村の繁栄をもたらし

▼平成四年度は、小学校で十四名、中学校で六名の児童生徒数が減少している。

▼大柳小学校の改修は制度改正などにより今年度着工はできない。

▼中学校の通学路は土木費に予算措置し改良してゆく。

▼椿川小学校に事務職員、大柳小学校に養護教諭が配置になる。▼複式学級となる椿川小学校へ

提出案件と主な内容

○保健センター設置条例案

診療所の改築とあわせて、村の保健活動の拠点となる保健センターを建設するというもの。

○交通指導員の定数を増やすための条例改正案

村の交通指導隊員の定数を七名から十名に増員して、交通安全指導に万全を期すというもの。

○職員の育児休業等に関する条例

村の職員が一歳未満の子どもの育児のために休業できることなどを定めるというもの。

○国民健康保険条例の改正案

助産費をこれまでの二十万円から二十四万円に引き上げるといふもの。これは平成四年四月一日から適用される。

○廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正案

し尿処理手数料など一般廃棄物の処理に関する手数料の決め方を変更するというもの。

○簡易水道給水条例の改正案

許可を得ないで給水工事などした場合の「罰金」の制度を廃止するというもの。(従来「不正等に対する過料や停水処分及び損害賠償」などの処分規定は存続する)

○体育施設設置条例の改正案

コミュニティスキー場を廃止するというもの。

○ふるさと創生基金条例・水田農業確立特別対策基金条例

国民健康保険診療所建設事業特別会計設置条例を廃止する案

この条例は初期の目的を達成した為廃止するというもの。

○平成三年度、一般会計・各特別会計補正予算案

事業完了等による予算額の整理などを主な内容としたもの。

○平成四年度、一般会計・各特別会計予算案

議会委員会条例を改正する案
地方自治法の改正により、議会運営委員会を条例設置するというもの。

教育を大事にし、人づくりを基盤にした教育投資は、必ずや住みよい豊かな村づくりの代償となつて繁栄をもたらすと信じている。

一般質問

三月定例会の一般質問は三氏が登壇し、リゾート開発計画や、国道の通年通行などについて質問しました。

誘客のルートを どう考えているか

村長——自動車道へのトンネル化で対応

高橋 楯雄議員



須川・大森山麓リゾート開発計画では、ジュネス栗駒スキー場に続いて大森山麓に大規模なスキー場建設構想があるようだが、誘客先をどの方面に置き、どんなルートで来ていただくか、どうか。もし、仙台・東京方面からのお客を見込んでいる場合、奥羽山脈の通年通行化が必須条件と思うが三九七号線の通年通行の見通しはどうか。

峰越林道の改良を望む

皆瀬村生内に通じる峰越林道は開設以来二十数年経過し、

管理面においても砂利道のままであることから改良が望まれるところである。

村長 今後ジュネス栗駒スキー場への誘客を増してゆくには、三九七号線の通年通行が最も理想な訳だが、距離的にも遠くて早急な具体化を望むのは難しいと考えている。

高速道の横手北上間が着工したことで、黒沢へのインターチェンジ建設と岩井川・三又間のトンネル化による誘客を目ざして、先般、山内村の村長さんと共に県の関係方面に陳情書を手渡し、お願いしてきた経緯がある。今後この実現に向けて運動してゆきたい。



一階に診療室がほしい大柳克雪センター

成瀬ダムとも関連させて実現を模索しているところだ。

342号線も通年通行を

今後、栗駒山を周遊する観光が予想される。近々着工予定の成瀬ダム建設と関連づけて、国道三四二号線も通年通行化することを考えることができない

か。 仁郷から賊沢^{（読み）}を通してトンネルで湯尻・真湯温泉・一ノ関市へ通するコースがある。 このルートはかつて鉄道建設計画路線として調査した経緯もあると聞いている。 須川園地整備計画も進んでおり、より長期営業への期待もできることからぜひ調査対象にしてもらいたい。

診療室の移転を

克雪センター建設後、へき地診療所の業務をセンター事務室で行ってきた。 しかしセンターの二階へ上る階段があつた長い間、足腰の弱い患者さんには大変難儀なので何とかできないかとの要望がある。

センター一階の休憩室を改装して診療室にすることはできないか。 現在の事務室面積は五十四㎡、休憩室は二十四㎡だが、面積などの関係で対応できるかどうかを調査して、なるべく要望の線に対応してゆきたい。

観光開発の

検討・見直しはあるか

村長——指導を受け見直してゆく

柳 邦 夫 議員



問 いま、全国でこの種の事業の見直しや縮小などが報道されている。

我村も第三セクター方式で須川高原を含む大森山リゾート開発や純民間資本による円森山リゾート開発等の話を聞いている。

これらのどの計画にも二百〜三百人の宿泊施設が含まれている。二〜三年後に着工される成瀬ダムも村の観光の目玉になる。

今年日帰りのスキー客が七万人来たからと言って年間を通してホテルが満室とはならないと思う。こうした観点から村の観光を総合的に検討し直し、縮小、場合によっては勇気ある撤退も恥ではないと思うが。

村長 成瀬ダムについては、予備調査が二〜三年続くと思う。円森山については、現時点で

は明確でない。今後事業が進み計画がわかり次第関係機関の指導を受けながら見直しを行きたい。須川大森山などについても同様だ。

集落内に温泉を

問 住民の声として、もっと集落の近くにボーリングを望む声が強い。

まず大字田子内地区に、次は椿台地区というように、山の上下でなく老人子供が歩いて行けて低料金で自由に利用できる温泉施設、このほうがふるさと創生の主旨にかなうと思うが。

村長 上畑方式の温泉という話は私も聞いている。しかし村としては、雇用の拡大、地場産品の消費拡大、産業振興も併せて進めて行きたい。

農地転用はなぜできない

問 滝ノ沢地区内の本土地区農地転用申請の保留に関して、去年の九月議会では景色が庶断される。交通安全上好ましくないというので一件落着のようになっている。しかしこれでは、申

請した本人は勿論のこと、これと隣接した田の持ち主のほうは、百姓の後継者もいない時代に、建物を建てられない地区とか言われては甚だ迷惑だと言っている。また交通安全上と言ってもあの程度のカーブでは理屈のこじつけのように思うし、その職にある人が軽々と言うことではないと思うが。

村長 この件は村の農業振興促進協議会という二十人近い代表の会議で決めたことであり、私はその場になかった。後で担当者の復命を聞いた。ただ、工場用地であれば、別の場所に斡旋の用意はある。

再度ゴミ対策を問う

問 「捨てればゴミ、生かせば資源」の観点から、ゴミの減量リサイクルや分類、また空缶・空ビンの投げ捨てなど徹底した啓蒙運動をすべきでないか。

生ゴミについては、その収集方法を再検討する時期と思うし今の方法では、勤めの主婦などは利用できない。また、生ゴミを持って家の前に立っている事も誠に評判が悪い。

部落内に場所を指定し、定期的に回収する方法で実施すべきと思うが。

村長 ゴミについての啓蒙は、

その都度行っている。しかし、同時に「三ツ子の魂、百まで」という諺があるが、このような時代になると、家庭の「しつけ教育」の重要性を感じている。民生課長 生ゴミについては、その方向で実施するべく対策を検討する。

新年度予算を問う

問 新年度予算の中から、アメリカ・デンバーとの交流ということで旅費その他に四百七十万計上しているが、今なぜデンバーなのか。四人位ずつ毎年続ける構想と聞いたが、このメリットは何か。特殊産業とか文化歴史に有名な所なのか。

次に、吹奏楽同好会に二百六十万補助して楽器を買ってやる

予算があるが、この人方は、みんな所得のある社会人と思う。小中の生徒に教材支給するのはは訳が違うと思うが。

次に、大柳のゲートボール場に三百八十五万円は大いに結構だが、年間何日使うだろう。グラウンドの一角ではだめなのか。それよりは、大柳小学校で何年も前から願っているトイレの水

洗改修を優先すべきと思うが。**村長** デンバーについては、貢献度云々でなく、仙人修業紹介の一コマが縁で始めた国際交流である。

ゲートボール場は老人対策、楽器は若者対策と解されたい。トイレの件は、校舎の改修と併せて計画するのでもう二〜三年、我慢願いたい。



捨てればゴミも
生かせば資源

(椿台の空ビン回収風景)

須川開発は

環境破壊にならないか

村長——充分考慮して進めている

後藤 作議員



栗駒国定公園は自然度が高く通常の開発行為は認めない特別地区に設定されている。

そこに自然保護を最優先しなければならぬ環境庁の外郭団体が三百人規模のリゾートホテルなどを建設して第三セクターに売却できるとは理解しがたい。環境事業団は公害防止・環境保全の立場にありながら関西地区では環境影響評価さえも住民から批判される答申をして開発計画を進めようとしているという。その事業団が須川地区にホテルなどの施設を建設する目的で調査に来るというが、村ではどのようなことを要請したのか。



保護と開発が問われる須川高原

折衝した結果、できるといふことでやっている。

あたかも自然を破壊する前提で事業が進められているような話だが決してそうではない。

須川周辺の各施設も自然環境をなるべく壊さないようにとお願いしているし、今後も充分注意してやってゆく。

村長が環境庁にこういうものを作れと願ったのでは、というが公害防止事業団はいろいろな施設を作って譲渡し、費用は二十年で返却すれば良いとのことなのでお願いをした。

須川での分湯が実現した時点でホテルを建てたいと考えたが

村財政だけでは無理なのでお願いしたものである。

しかし、規模が大きく村の年間予算の三〜四倍の事業では到底返済できる状態でないことから、白紙にして規模の縮小や計画の練り直しを検討している。

景観を損うことはないか

滝ノ沢の土本地内にある田の除外申請が「建物を建てると景観を損う」との理由で保留になっている。現地で見ると田子内地区全景や東にそそる脊梁が一瞬見えにくくなることからして自然景観は国民全体のものであるとの観点から理解できる。

では須川の場合、真中にホテルなどの施設があることは景観を損うことにならないのか。

村長 農業振興促進協議会が、あそこに工場二棟建てられたら

中学校や田子内地区など見える所なので残念だ、という事で県に解除申請しないことにしたとのこと、村の偏見でやっているのではないので、皆さんも現地を見て所見を承たまわる事が出来ればと思う。

西小沢開発をどう思う

西小沢のリゾート開発を予定通り行った場合、村の開発事業との競合はさげられないと思うが見解を伺う。

村長 西小沢の開発はまだはっきりしていないと思う。会社登記などを済ませて、申し入れがあればその時点では協議の必要があると思う。

職員派遣の根拠は何か

第三セクターに職員を派遣しているのが、何に基づいて行っているのか。改正された自治法をみて村長等は会社の役員を兼ねても良い事になったが職員の派遣についてはふれていない。職員は全体の奉仕者だが派遣先は公益、公共施設になるのか見解を伺う。

村長 私の職務命令で派遣している。従って契約書等はない。職員はリゾートの仕事もしているが、スキー場の建物は村のものであるから、その管理と事業

の監督なら良いと思った。埼玉県上尾市の裁判例もあることから自治省関係の動向を見極めながら態度を決めたい。

福祉政策の充実を望む

福祉関連法の改正で、老人保健福祉計画の策定をすることになり、高齢者の生きがい対策住み良い福祉の村づくり、ねたきり老人をつくらないなどの老人福祉対策の充実が求められている。この計画策定は財政的裏付けをして取り組むことを求める。

村長 法改正をふまえ、来年度実施で計画している。

ヘルパー・家庭奉仕員・給食や入浴サービスなど他町村より劣るとは思わないが、デイサービスその他にも万全を期したい。

休耕地再生に助成を

減反の強制は国の政策によるものだ。連続不作で減反を緩和するというが、耕作放棄地の再生は手間・暇・金がかかる。希望者には助成が必要でないか。

村長 補助となれば約二十町歩へ一律に出すことになる。

何かへ転作する場合は考える要素もあるが、荒していたものへ最初から補助金をやるからやりなさい、という考えはない。

スポーツ 議案審議

三月定例会の議案審議のうち、一般会計予算案に
焦点をあてて、質議の一部を紹介します。

歳入について

村税増減要因は何か

後藤議員 民税の課税標準額が
上った要因は何か。

税務課長 給与所得が三〇程伸
びている。ただし均等割では人
員が、所得割では農業所得に減
少がみられた。

後藤議員 法人税の収入見込み
が低いのではないか。

税務課長 村内各企業や団体の
前年度の実績をみて算出した。

後藤議員 固定資産税に関連し
地籍調査結果の反映度合と課税
標準額増加の要因は何か。

税務課長 地籍調査による影響
はあまりない。課税標準額は、
田畑等が減少し山林宅地が上昇
している。

たばこ税の動向は

柳議員 たばこ税は年々減少傾
向にあるのか。

税務課長 年々売り上げ本数が
減っている。たばこ税は千本に
ついて千九百九十七円の計算を
している。

土地保有税のしくみは

柳議員 特別土地保有税はどん
な方式で算出されるのか。

税務課長 課税は保有分と取得
分についてされる。

取得額に税率を乗じて固定資
産税額相当額を減じた額が十年
間課税される。

保育料収入減はなぜか

後藤議員 保育料の収入減の要
因は何か。

民生課長 人数は前年と同じだ
が、昨年から施行された第三子
保育料免除の分が当初から含ま
れているからである。

コミュニティ助成とは何か

佐藤(正)議員 コミュニティ事
業助成の内容は何か。

企画室長 二百五十万円前後で

できる施設の整備、あるいは備
品購入などをメニューとして、
三年に一度くらいの割合で助成
対象となる。

交付税に対する考え方は

後藤議員 地方交付税の中へ従
来あった補助金のままで算
入されることを妥当と考えるか。

村長 自治省は地方自治体の味
方であるという感覚をもってい
る。国保事務費や国の補助金な
どが交付税に算入される訳だが
これによってしはられるという
感覚は持っていない。

歳出について

振興財団とは何か

柳議員 振興財団の目的と助成
金の目的は何か。

企画室長 ふるさと創生資金を
原資として設立したもので、人
材育成と物産振興をねらいとし
ている。助成金の使途は運用益
が生まれる間の事業資金である。

村に公衆電話が少ない

後藤議員 村内に公衆電話が少
ない。国道改良などで観光客の
増加が予想される時に対策はあ
るか。
総務課長 即答できないので検
討する。

簡易温泉はどこへ作る

後藤議員 簡易温泉を作る場所
はどこか。源泉の加熱はどうす
るか。

企画室長 昨年ボーリングした
場所を考えている。三十六度の
源泉の加熱はヒートポンプ式で
やりたい。

下水道調査の内容は

後藤議員 下水道調査委託費の
内容は何か。

企画室長 下水道整備の方法と



このお湯を使って簡易温泉をつくる

しては公共下水道法に基づく千人以上の人口を対象とする事業と農業集落排水事業などがある。これら事業導入についての調査をするものである。

梅苗木の配布は続けるか

佐々木(勇)議員 毎年六十歳になると梅苗木が配布されるが、植栽する場所がなくても配布するののか。

民生課長 そのとおりだ。今年から二本ずつ配布する。

白内障手術等の助成額は

後藤議員 白内障手術助成の額はいくらか。

民生課長 人工水晶体一眼につき五万円、特殊眼球は一对に二万五千元、コンタクトレンズは一对に一万五千元として四月一日から適用となる。

ドック検診の拡大を

後藤議員 人間ドックの補助対象年齢を拡大できないか。

民生課長 気運は高まっている。

再度生ゴミ対策を問う

柳議員 生ゴミ収集対策について再度考えを伺う。

民生課長 平成三年度の環境衛生協力員会議に諮ったところ、「今までどおりで良い」という



ビューポイント栗駒(栗駒を望む観光ポイント)

結論であった。しかし前向きに検討したい。

保健センターの高齢者等への対策は

後藤議員 今度建設する保健センターは診療所の二階になると聞くが、高齢者や身障者対策はあるのか。

民生課長 エレベーターを設置する。

牧場造成基準はあるか

後藤議員 牧場を作る時に基準はあるのか。

産業課長 一頭あたりの牧草の必要量(成牛で35kg、子牛で10kgなど生体重の約10%)によって面積を設定する。

ビューポイント栗駒とは何か

高橋(楢)議員 ビューポイント栗駒とは何か。

産業課長 谷地橋のところへ建てたトイレ兼展望台です。

大森山麓開発の全体像を

後藤議員 大森山麓開発の全体計画が不透明だ。

助役 当初は五年くらいでと考えていたが、現在は国、県などと協議しながら再検討している。従って現段階で事業量、事業費などを数字で示すことはできない。後日提示する。



今冬には利用したい代行道路(滝ノ沢から平良へ抜ける)

代行道路は今冬使えるか

古谷議員 滝ノ沢から平良へ出る代行道路は今冬の開通見込みがあるか。

村長 平成四年度事業見込みで少し残るようだ。村としては、全線完成するよう働きかけているところだ。

**学校の五日制に
対する考えは**

後藤議員 学校の土曜休み(五日制)に向けた教育長の考えを

改めて伺いたい。
教育長 地域や学校、または家庭との連携を深めながら対応してゆきたい。

スキーハウスの内容は何か

後藤議員 スキーハウス建設の具体的内容を聞きたい。
教育委員会総務課長 小中学生のためのスキー置場やクラブ等のためのプレハブを建てる。

このようになりました

みなさんからの

請願

陳情

十二月定例会において継続審査とされた陳情は、次のように決定しました。

△継続審査▽

▼自衛隊海外派兵のためのPKO(国連平和維持活動)協力法案に反対する意見書採択に関する陳情(採択と決定)

(意見書送付を決定)

こちら傍聴席

議員さんたよりにしてます



姪川 高橋 達雄さん

三月定例会村議会的一般質問を二時間ほど傍聴したら、傍聴席に三名、議員席には十三名のベテラン議員が席についていた。

通告一番の後藤議員、二番の柳議員、三番の高橋(檜)議員の順に質問があり、それぞれに村長の答弁があった。

今回は三議員ともリゾート関係の質問が多く、質問時間も四十分位の方と半分位の方が有りましたが、ただ同種の質問の場合内容も同じなので別の質問を

臨時議会

一月十八日、臨時議会が開かれ、次の三議案をすべて「原案可決」としました。

- ◎ポピュラー館建築本体工事の請負契約(変更)について
- ◎ポピュラー館機械設備工事の請負契約(変更)について
- ・ジュネス乗駒スキー場で活用

して下さればと思います。

今から十数年前に傍聴した時は統合中学校建設の審議もあつたせいか、傍聴席は満席でしたが、現在はあまりに少なく、議員さんも物足りないのではないかと思います。

外野からだけでなく内野に乗り込んで種々な注文をしたらと思う。

議員の皆さんは村民の代表です。質問者も毎回同じ方でなく別の方の質問も聞いてみたい。

最近、村内の二十五歳から三十五歳の方々にアンケート調査をしたら、村の三役と議員の名前を知らない人がびっくりするほどいたそうです。どういふ訳かはわかりません

傍聴してみませんか。

次の定例会は
6月に行われます。

している建物の名前をジュネスワンと改めることと、工事金額を増額するというもの。

◎老人福祉施設運営特別会計補正予算案

〈主な内容〉

- ・特別養護老人ホーム幸寿苑の地下水が少なくなってきたこと
- ・生活に支障をきたすということ
- で、平良簡易水道から導水して使用するための工事費用などを措置するというもの。

編集室

日本列島も南から花だよりが開かれ、桜前線の北上と共に雪国も春の息吹が感じられる。

今年の開花は、去年よりもさらに四・五日早いかと。

暖冬も雪も四年続くと慣れてしまい、これがあたりまえのようになってしまっています。

私達の子供の頃は、ほんとによく降ったものでした。

三月定例会も、間に小・中学校の卒業式を入れながら十七日で終了。今年から本格化する、リゾート構想を含んだ二十六億の予算でしたが、リゾート投資の規模は次第に大きく、村の命運がかかって来ると思っています。

読まれる議会だより、待たれる議会だよりを、そしてやはり議会は「じかに」傍聴しなければと、住民の方々が思うようになる、広報紙作りを目標に努力しています。

村の皆さんも四年に一度燃えるだけでなく、負託した議会に、常に最大の関心と英知をお貸し下さい。

(柳 邦夫)